

関中 学校だより



関中学校HPにアクセス

＝ 第19号 ＝
令和4年10月7日発行
亀山市立関中学校
文責 岩間（校長）

学校教育目標：豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

授業参観と教育懇談会にたくさんの方の参加ありがとうございました！

10月5日（水）の午後から授業参観があり、1年生の数学と保健体育、2年生の数学と国語、3年生の社会と音楽の各授業を参観いただきました。落ち着いた様子や活発に取り組む様子など普段と変わらない生徒の姿を見ていただいたものと思います。60名ほどの方々に参観をいただき、ありがとうございました。

また、続いて行われた教育懇談会には、オンライン配信も含めて50名を超える保護者や地域の方々に参加いただきました。今年も田上のりこさんに「大人も子どもも幸せになるコミュニケーション～やる気スイッチの入れ方～」としてご講演いただきました。講演を聴いて、日常的に意識していきたいと強く感じました。

PTA教養部の方々には準備をいただき、また、たくさんの方々には講演会へ参加いただき、ありがとうございました。



校内の授業研究を進めています！「一人ひとりが生き生きと学ぶ授業づくり」

一昨年度からのコロナ禍の影響もあり、対面での話し合い活動や協力しながらの活動が制限され、物理的に近づけなかったり、マスクにより相手の表情が読み取れなかったりして、心を開いて自分の思いを伝えられていないのではないかと考えました。

そこで、今年度は「かけがえのない自分に自信をもち、互いの良さを認めあい、つながり高めあえる生徒の育成～一人ひとりが生き生きと学ぶ授業づくり～」のテーマで授業研究を進めています。

そのために、日々の授業の中で生徒が自分の考えを持ち、それを表現したり、他の人の考えを受け止めたりする活動を大切にしていきます。そして、お互い理解が深まり、次の行動につなげていけるような仲間づくりを進めていきます。また、生徒一人ひとりの学びを保障するために学習規律、学習環境等を整えるとともに、基礎学力向上のため補充学習を進めていきます。

10月4日には、関小学校と加太小学校の先生方にも参観に来ていただきました。今後も授業改善に役立てていきますので、ご理解をお願いします。



1年保健体育



3年音楽



1年国語

※裏面に「全国学力・学習状況調査等の結果分析と今後の取組について」記載しました。3年生だけでなく、全学年、全教科に関わって、今後取り組んでいきますので、よろしくをお願いします。

全国学力・学習状況調査等の結果分析と今後の取組について

各教科の 平均正答率

教科名	本校	三重県	県との差	全国	全国との差
国語 (%)	66.0	68.0	-2.0	69.0	-3.0
数学 (%)	44.0	52.0	-8.0	51.4	-7.4
理科 (%)	48.0	48.0	±0.0	49.3	-1.3



各教科の観点別 平均正答率

教科名	評価の観点	本校	三重県	県との差	全国	全国との差
国語 (%)	知識・技能	66.2	68.4	-2.2	69.0	-2.8
	思考・判断・表現	56.8	61.2	-4.4	62.3	-5.4
数学 (%)	知識・技能	54.7	60.7	-6.0	59.9	-5.2
	思考・判断・表現	25.9	36.3	-10.4	36.2	-10.3
理科 (%)	知識・技能	47.6	45.0	+2.6	46.1	+1.5
	思考・判断・表現	48.0	49.7	-1.7	51.0	-3.0



各教科の分析

【国語】 国語の平均正答率は66.0%で、三重県との差は-2.0ポイント、全国との差は-3.0ポイントと低かった。日常で使用する漢字や語彙の定着がみられ、資料の読み取りには改善がみられる。思考・判断・表現の観点、県より-4.4ポイントであり、全国より-5.4ポイントと低かった。複雑な問いかけに対し、自分の考えが伝わるように内容を整理し根拠を明確にして書くことに課題がみられる。

【数学】 数学の平均正答率は44.0%で、県との差は-8.0ポイント、全国との差は-7.4ポイントと大きな差がみられた。思考・判断・表現の観点、県より-10.4ポイント、全国より-10.3ポイントと極端に低かった。事象を数学的に解釈し、筋道を立てて問題解決の方法を数学的に説明することに課題がみられる。

【理科】 理科の平均正答率は48.0%で、三重県と同じで、全国との差は-1.3ポイントと少し低かった。理科においても、思考・判断・表現の観点、県より-1.7ポイント、全国より-3.0ポイントと少し低かった。様々な実験・観察結果を関連付けて科学的に考え、問題に対して適切に考察し説明することに課題がみられる。



今後の取組

【国語】 表現方法、文法、慣用句などについて確認をすすめる。そして、長い複雑な文章問題に取り組み、正しい書き言葉を意識し、分かりやすい文章で相手に説明できるように書くことに慣れるよう活動を取り入れていく予定である。

【数学】 計算問題を正しく時間内に解く力をつけるよう練習する。そして、基本的な証明問題や説明問題の情報を整理し、相手に分かりやすく説明する活動を取り入れていく予定である。

【理科】 基礎的知識の定着を図るとともに、出題の意図や必要な条件に着目して問題を読み取り、観察実験の結果を関連づけたり比較したりして考察するような活動を取り入れていく予定である。

生徒の学習環境等

全国学力・学習状況調査の生徒質問紙より、学習・生活環境や学習意欲、学習方法等について分析した結果、学習環境は全国的にもよいと考えられる。例えば、「毎日同じ時刻に寝ている」の肯定的回答は91.9%（全国比+12.0ポイント）、「学校に行くのが楽しい」の肯定的回答は89.2%（全国比+6.3ポイント）と高い。

また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれるか」の肯定的回答は91.8%（全国比+5.2ポイント）、「普段、1時間以上読書をしている」24.3%（全国比+11.9ポイント）、「読書は好きですか」の肯定的回答は72.9%（全国比+4.7ポイント）と成果があらわれている。「学級で話し合い、お互いの良さを生かして解決方法を決めている」の肯定的回答は81.1%（全国比+4.3ポイント）、「数学で学習したことは、将来役立つと思うか」の肯定的回答は81.0%（全国比+4.5ポイント）と国語や理科も含め学習に対する意欲、必要感や有用感といった学習に対する意識が高いことがわかった。

一方、「平日1時間以上勉強する」の回答は51.3%（全国比-18.2ポイント）とかなり低く、3年生においても家庭学習において課題があり、いかに家庭学習を計画的にじっくり取り組むようにすることができかが課題となっている。